

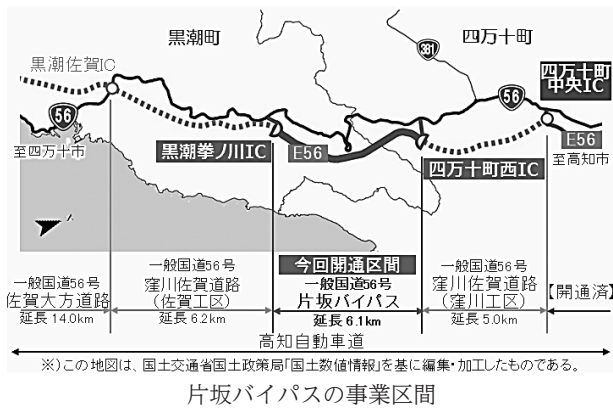
—四国地方整備局—

一般国道56号 片坂バイパス 11月17日(土)に開通しました！

1. はじめに

一般国道56号片坂バイパスは、現道の連続する急カーブ・急勾配に伴う事故発生箇所を回避し、南海トラフ地震や豪雨災害発生時の緊急輸送道路として機能し、高知新港、高知龍馬空港へのアクセス向上による地域産業の活性化を支援する道路である。また将来は、「四国8の字ネットワーク」として四国横断自動車道と接続し、高知西南地域の高速交通ネットワークの一翼を担う道路となる。

本事業は、四万十町西ICから黒潮拳ノ川ICまでの6.1kmの路線であり、2018年11月17日(土)に全線開通したところである。



2. 事業の透明性確保

本事業を円滑に推進していくうえで、地元の方々をはじめとする一般の方に対して事業進捗や工事の施工状況、工法の紹介などを適宜実施してきた。その結果、見学会には多数の方が参加されて、様々な施工プロセスを記憶に留めていただけた。さらに日本の将来を担う児童・生徒たちが、将来にわたり愛着を持って利用することができるという期待に胸膨らませる姿を見て、現場関係者一同が工事を一層推進することができたとともに、より良い道路づくりに尽力、邁進できたことはいままでのない。



トンネル内装板設置工事の現場見学会に参加した児童

工事の施工状況等をお知らせする事業便りを地域内に回覧

3. i-Constructionの推進

建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」の取組みとして、起工測量、施工、監督・検査時の一連のステップでICTを活用する工事を推進しているが、「i-Construction」の一層の推進及びICT活用推進に向け、ICTを活用した工事の施工に必要な技術的内容の講習会と現場見学会を開催するとともに、ICTを活用した土工：約25万8千㎡、舗装：約1万6千㎡を円滑に施工した。



ICTを活用した土工・舗装工事で仕上げた工区

4. おわりに

まず、事業を進める課程で関わった地元の方々をはじめ、関係機関等の多大なる協力を得ながら開通を迎えられたことに、この場を借りて感謝申し上げますとともに、今後、本事業に隣接する窪川佐賀道路事業を推進し、高知西南地域の一層の活性化に寄与すべく、着実に事業を進めていくことを結びとする。

(国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 建設監督官 南原 道昭)